
乗って残そう！赤い電車

市民まるごと赤い電車応援団

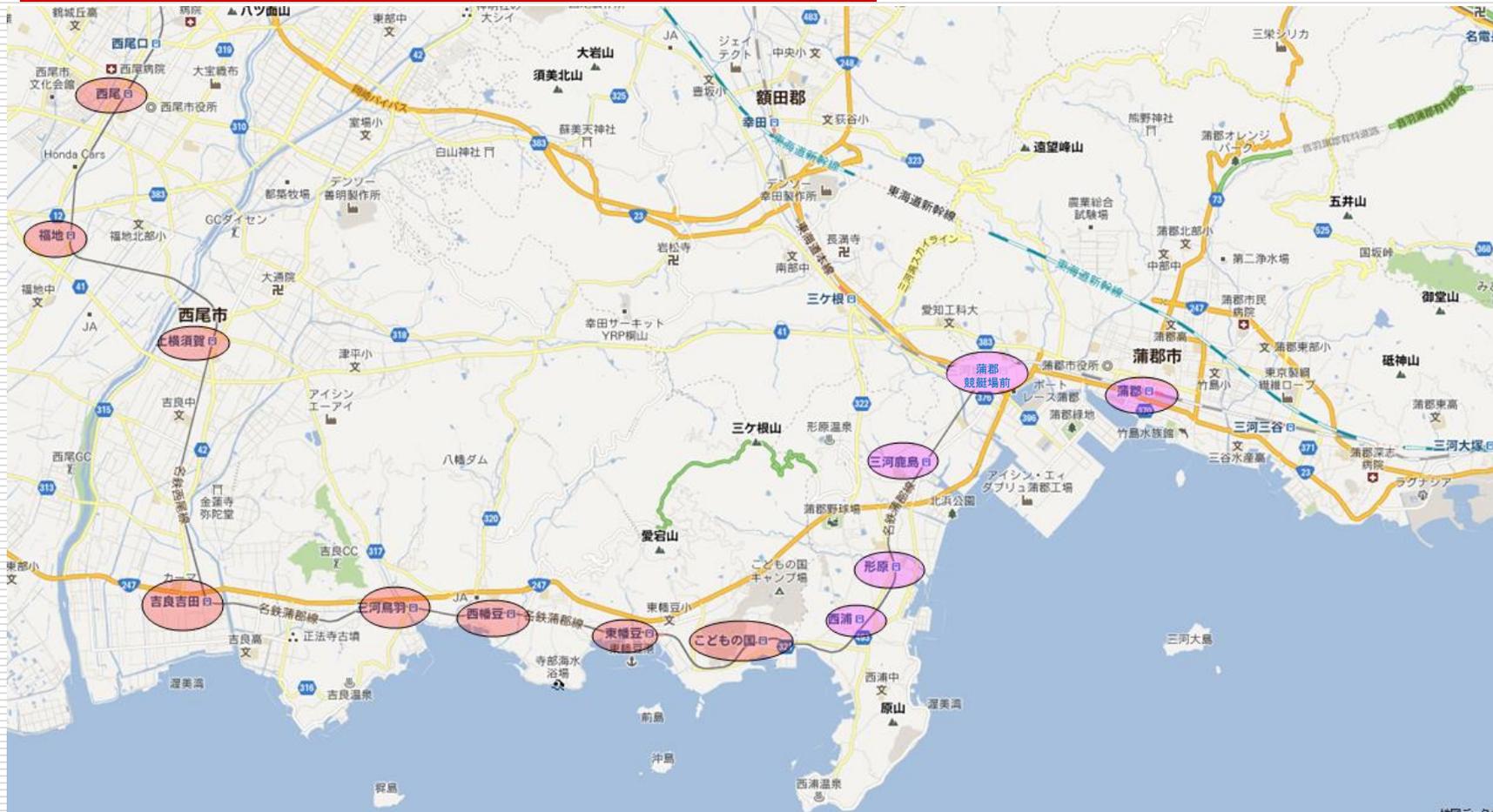


本日の内容

- 名鉄西尾・蒲郡線(西尾・蒲郡間)とは
- 名鉄西尾・蒲郡線(西尾・蒲郡間)の現状
- 市民まるごと赤い電車応援団の設立・構成
- 応援団の主な活動内容
- 今後の取り組みについて

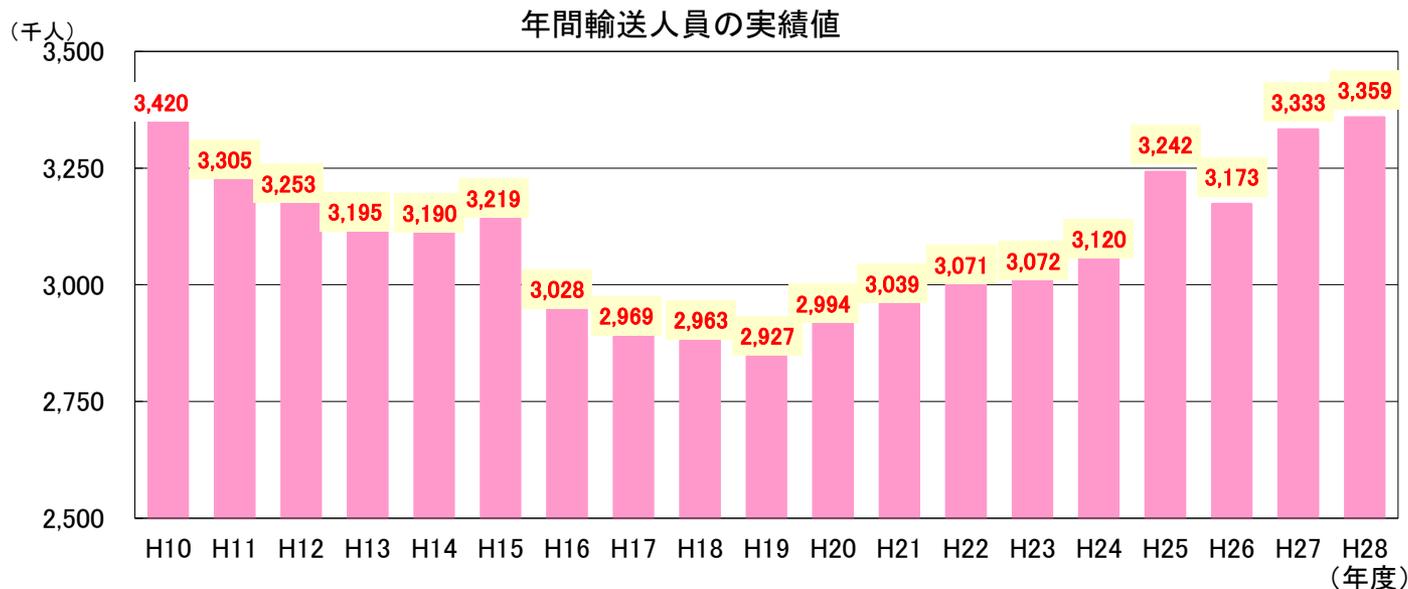


名鉄西尾・蒲郡線(西尾・蒲郡間)とは(13駅)



名鉄西尾・蒲郡線(西尾・蒲郡間)の現状

年間輸送人員は、平成19年度までは減少の一途をたどっていましたが、平成20年度より継続して増加し続けています。
(平成26年度は消費税率引き上げに伴う定期券先買いの影響あり)



名鉄西尾・蒲郡線(西尾・蒲郡間)の利用人数

(路線別)

西尾駅～蒲郡駅

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
合計(千人)	3,242	3,173	3,333	3,359

西尾駅～吉良吉田駅

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
合計(千人)	2,146	2,113	2,243	2,251

吉良吉田駅～蒲郡駅

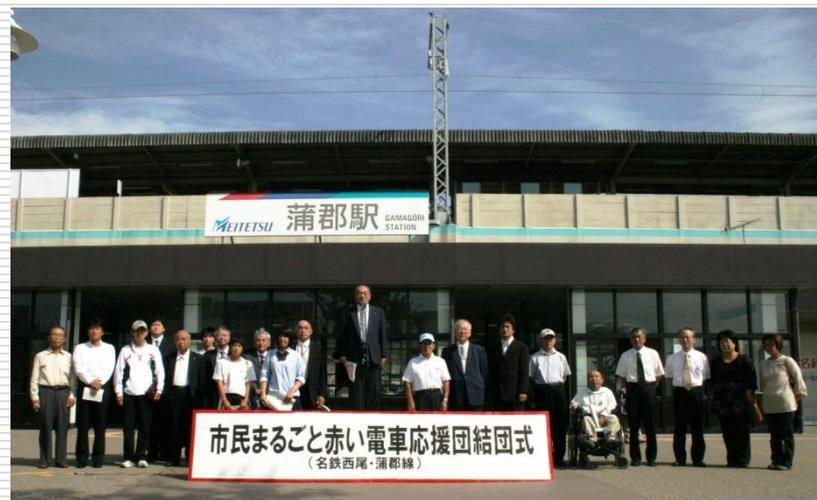
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
合計(千人)	1,590	1,540	1,582	1,598

名鉄との交渉経過について

- 鉄道事業者の名古屋鉄道(株)と、沿線市は、平成17年度に「名鉄西尾・蒲郡線対策協議会」を設立し、平成21年度からは愛知県も加わり、維持存続に向けて協議してきました。
 - 協議の結果、平成23年度から沿線市は名鉄に対して、鉄道施設保有に係る費用の一部を負担しています。
 - 現在は平成32年度までの運行継続が決定しています。
-

市民まるごと赤い電車応援団設立の経緯 (H21. 9月結団)

- 市民の総力で名鉄を存続するために、平成21年9月に「市民まるごと赤い電車応援団」を結成しました。
- 発足当初は19団体でしたが、現在は23団体となり、志を同じくする団体に活動の輪が広がってきています。



市民まるごと赤い電車応援団構成(23団体)

(1)蒲郡市総代連合会、(2)蒲郡市老人クラブ連合会、(3)蒲郡市小中学校PTA連絡協議会、(4)蒲郡市子ども会連絡協議会、(5)ふれあいレクタイム、(6)蒲郡商工会議所、(7)蒲郡市観光協会、(8)蒲郡高校、(9)蒲郡東高校、(10)三谷水産高校、(11)蒲郡あけぼの幼稚園、(12)愛知工科大学、(13)蒲郡青年会議所、(14)ソフィア看護専門学校、(15)蒲郡市社会福祉協議会、(16)がまごおり市民まちづくりセンター、(17)蒲郡市小中学校校長会、(18)沿線小中学校長代表、(19)蒲郡市保育園父母の会連絡協議会、(20)蒲郡市公民館連合会、(21)蒲郡市文化協会、(22)蒲郡市体育協会、(23)沿線保育園長代表

今までの活動内容1

- 赤い電車写真コンクール開催(オリジナルカレンダー作成)
- 名鉄沿線8中学校合同練習会(女子バレーボール)
- 赤電CUP(中学生男子バスケットボール合同練習会)



今までの活動内容3

- 春／秋の「幡豆・友引市」での呼びかけ
- 公民館での各種イベント開催
- 西尾高校生徒による名鉄西尾・蒲郡線体感ウォークを応援



今までの活動内容4

- 名鉄西尾・蒲郡線利用促進大会開催
- キャンドルナイトin真如寺でブース出展
- 市民病院まつりにてブース出展



今までの活動内容5

- 西中文化の日体験講座にて絵はがき作成
- 保育園や小学校の遠足での利用促進
- 蒲郡・西尾両市の老人クラブ合同健康ウォーキングを開催



今後の取り組みについて

- 名鉄西尾・蒲郡線沿線には、「自然」「文化」「食事」などの多くの観光資源がありますが、地域外の人たちへの認知度はまだまだ不足している状況です。
- 今後も沿線の魅力についての情報発信を積極的に行い、地域外の人々を呼び込む取り組みを行っていきます。

利用促進 + 誘客推進

- 皆さんもぜひ1度ご乗車ください！



ご清聴ありがとうございました。

